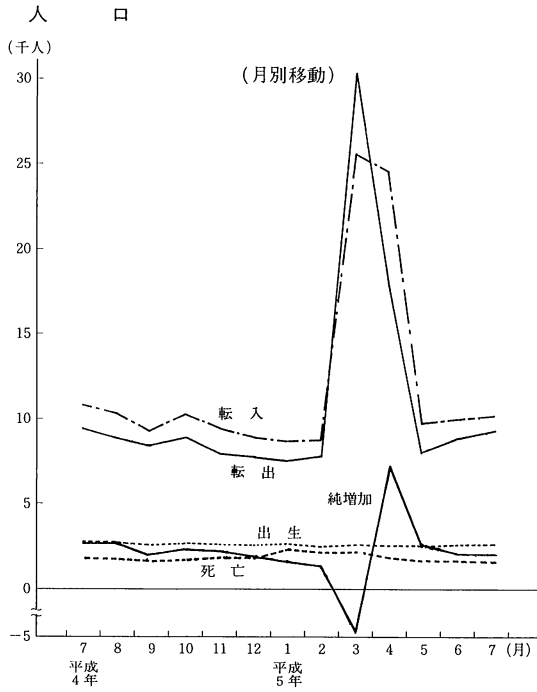
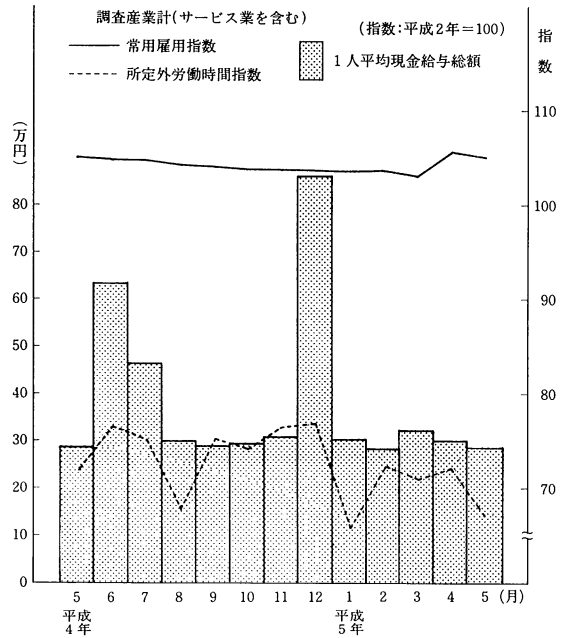


● 今月の主な動き

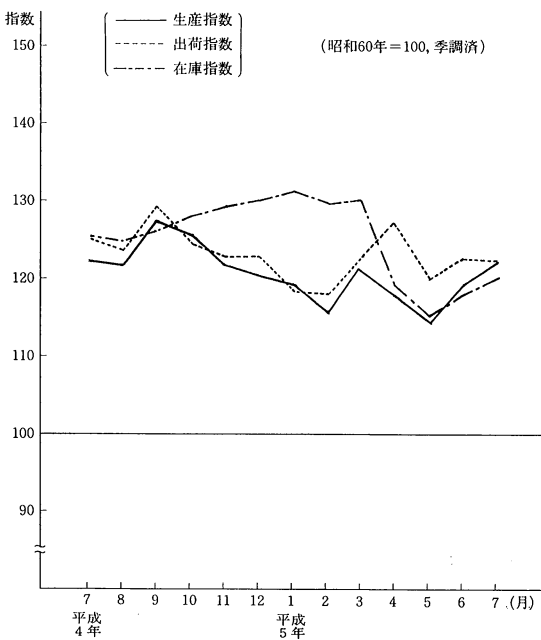
今月の主な動き



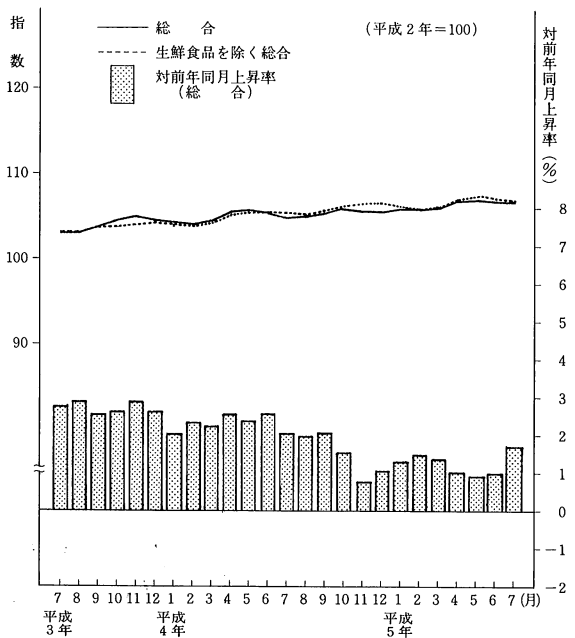
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (8月1日)

本県の人口は、7月中に1,945人増加し、8月1日現在で2,921,999人(男1,460,521人, 女1,461,478人)となった。

内訳は、自然動態で995人(出生2,507人, 死亡1,512人)増加し、社会動態で950人(転入10,206人, 転出9,256人)増加した。前年同月と比べると21,797人(0.75%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が15市46町村, 減少が5市19町村, 増減なしが2町村である。

世帯数についても7月中に1,123世帯増加し892,250世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (5月)

1. 平均賃金の推移

5月の現金給与総額は、調査産業計で294,652円, 対前年同月比2.1%増, このうち、きまって支給する給与は290,793円, 対前年同月比2.1%増であった。また、このうち、所定内給与は265,345円, 対前年同月比2.0%増であり、超過労働給与は25,448円, 対前年同月比1.2%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比1.7%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

5月の総実労働時間は、調査産業計で150.8時間, 対前年同月比4.6%減であった。このうち、所定内労働時間は137.8時間, 対前年同月比4.3%減, 所定外労働時間は、13.0時間, 対前年同月比7.2%減であった。

3. 雇用の動き

5月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.1%減であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (7月分)

本県における平成5年7月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が122.4, 出荷が122.5, 在庫が120.3で、前月比は、生産が2.9%の上昇, 出荷が△0.5%の低下, 在庫が2.0%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△0.2%の低下, 出荷が△2.1%の低下, 在庫が△4.8%の低下であった。

業種別に前月比をみると生産では、化学工業、電気機械工業、金属製品工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、食料品・たばこ工業、その他工業等が低下した。出荷では、化学

工業、電気機械工業、プラスチック製品工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、鉱業、食料品・たばこ工業等が低下した。在庫では、精密機械工業、鉱業、輸送機械工業が上昇し、石油・石炭製品工業、その他工業、化学工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、耐久消費財、資本財等が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財が低下した。出荷では、耐久消費財、資本財等が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財が低下した。在庫では、その他用生産財、資本財等が上昇し、非耐久消費財が低下した。

■ 消費者物価指数 (7月)

平成5年7月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で106.5(平成2年=100)となり、前月と変わらず、前年同月比1.7%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……野菜・海草12.5%, 果物7.3%

今月の下がった主な項目……シャツ・下着5.8%, 衣料4.1%, 他の家具・家事用品1.8%, 乳卵類1.6%, 菓子類1.6%, 生地・他の被服類1.2%

生鮮食品を除く総合は106.8となり、前月比は0.5%の下

落, 前年同月比は1.4%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年			対前月	対前年
総合	106.5	0.0	1.7	保健医療	102.6	△0.2	0.3
食料	105.9	1.4	1.3	交通通信	100.5	0.0	1.1
住居	113.3	0.1	2.7	教育	110.1	0.0	4.1
光熱・水道	103.1	△0.1	0.3	教養娯楽	108.9	△0.3	1.8
家具・家事用品	100.9	△1.1	0.1	諸雑費	103.9	△0.1	0.3
被服及び履物	108.5	△3.6	3.3	生鮮食品を除く総合	106.8	△0.5	1.4